

ドラマ

連続ドラマW グーグーだって猫である

今秋放送決定

少女漫画界の巨星・大島弓子が、飼い猫との愛しい日々をつづったコミックエッセイを宮沢りえ主演でドラマ化。映画版と同じく犬童一心監督が手掛けるオリジナルストーリー。



少女漫画界の巨星・大島弓子の自伝的コミックエッセイをドラマ化。飼い猫との愛しい日々を描いた秀作で、コミックは累計80万部発行、小泉今日子主演で2008年に公開された映画もスマッシュヒットを記録した。

主人公の小島麻子役には、「盲導犬」「MIWA」などの舞台で圧倒的な存在感を放ち、7年ぶりの主演映画『紙の月』も話題の宮沢りえ。柔らかな芯の通った主人公を魅力的に演じている。

脚本は『婚前特急』、『わたしのハワイの歩きかた』の高田亮。監督は映画版に続き『ジョゼと虎と魚たち』『のぼうの城』の犬童一心が手掛け、原作の世界観を踏襲しながらも連続ドラマとして新たなアプローチで再構築されたオリジナルストーリーだ。

<ストーリー>

吉祥寺に住む小島麻子（宮沢りえ）は、人気連載を持つ少女漫画家。締め切りに追われる多忙な日々の中、長年共に暮らしてきた愛猫のサバが突然息を引き取ってしまう。以来、漫画が描けなくなり、食事ものどを通らなくなる麻子。心配した担当編集者・大森の勧めで一軒家に引越しをしたものの、依然として生活のペースは戻らない。

ある日、井の頭公園を散歩していた麻子は、病気の子猫を連れてたホームレスと出会う。彼と何度か顔を合わせるうちに、子猫の病気を治してあげたいと思い始めた麻子は、ホームレスに無断で子猫を病院に連れて行くのだが…。

原作： 大島弓子（「グーグーだって猫である」角川文庫）

脚本： 高田亮（『婚前特急』『午前3時の無法地帯』『わたしのハワイの歩きかた』）

監督： 犬童一心（『ジョゼと虎と魚たち』『グーグーだって猫である』『のぼうの城』）

音楽： 高田漣（『横道世之介』『箱入り息子の恋』）

出演： 宮沢りえ ほか

●番組写真・資料のお問い合わせ先： Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156（情報センター）

※都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。